

まちづくり・
コミュニティ

町会・自治会

防犯・防災・
みまもり

こども

教育

シニアライフ

健康

スポーツ

芸術・文化・
趣味

環境

ふくしと
サポートNPO・
ボランティア

国際交流

男女共同参画

農業・商工業

ホーム > 市民レポーター > 四小の囲碁教室に行ってきました！

四小の囲碁教室に行ってきました！

東久留米市立第四小学校で、囲碁プロによる囲碁教室があると聞き、取材してきました。日本棋院の小学生への囲碁普及プログラムの一貫で、四小学校が以前から行なっている「本物シリーズ」の一つとして取り上げたようです。

当日は、馬場市長・片柳指導室長も参加され、プロ棋士の潘先生や東久留米囲碁連盟の方々も熱心に指導されていました。

私は将棋はわかるのですが、囲碁の経験はありません。しかし、潘先生の素晴らしい分かりやすい教え方に興味がわいてきました。

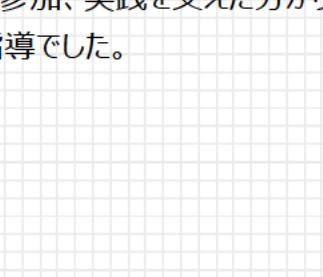
小学生も、自分で考えることの大切さを伝授され、一生懸命、囲碁の楽しさを学んでいました。

難しいと思った囲碁も、教われば簡単に理解できます。

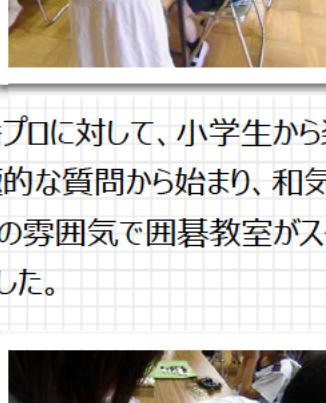
「囲碁のルール」は以下の内容。

- 1、石は黒、白を順番に線と線の交じった所に打つ。
- 2、陣地（お庭）の多いほうが勝ち。
- 3、相手の石の道をふさぐと取れる。
- 4、打ってはいけない場所がある。

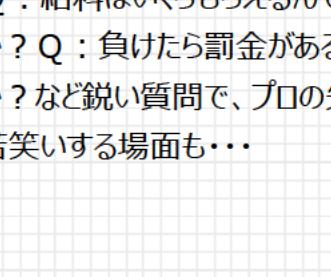
市民記者：マーボ



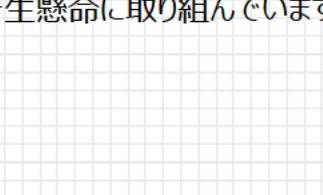
小学1年生から6年生まで32人が参加、実践を交えた分かりやすい指導でした。



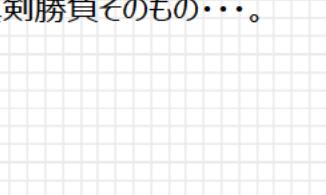
潘プロに対して、小学生から楽しく積極的な質問から始まり、和気あいあいの雰囲気で囲碁教室がスタートしました。



Q：練習時間はどのくらいですか？
Q：給料はいくらもらえるんですか？ Q：負けたら罰金があるんですか？など鋭い質問で、プロの先生も苦笑いする場面も…



一生懸命に取り組んでいます。



真剣勝負そのもの…。

相手に対しての礼儀を持って、戦略を自分で考え、勝負の厳しさを、白黒の石で教えてくれる囲碁は、ゲーム世代の子供たちにとり、貴重な体験ですね。

今後、囲碁に興味を持つ人が一人でも増えること、そして、市内他校にもこのような機会が増えればと思います。

*写真の撮影については、主催者の了解を得ています。